

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります

計画事業名	蒲田駅周辺のまちづくり						
主な取組内容	世界への玄関口となる羽田空港を活用し、大田区を中心拠点にふさわしい魅力と活力あるまち蒲田をめざします。そのため、交通結節機能*を充実し、都市機能を更新するとともに、まちの安全や景観の向上に取り組みます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
将来構想の調整・策定		→					
将来構想の計画的実施			→	→	→	→	検証
旧逆川の整備		→	→	→	→	→	完了

所管部局	まちづくり推進部、都市基盤整備部	
平成 22 年度の取り組み内容		進捗状況
<p>【将来構想の計画的実施】</p> <p>○平成 22 年度に新たに設置した蒲田駅周辺地区グランドデザイン庁内推進委員会（2 回）を開催し、計画事業に関する取り組みの確認及び情報共有等を行いました。</p> <p>○国、東京都、大田区による検討組織準備会（1 回）を開催し、調査研究会体制等の検討を行いました。</p> <p>○準備会での検討結果を踏まえ、蒲田駅周辺整備計画策定調査研究会を設置しました。調査研究会（4 回）を開催し、蒲田駅を中心とする地区整備の検討を行い、調査研究会中間報告をとりまとめました。</p> <p>○蒲田駅周辺地区グランドデザインのアクションプランで示した計画事業の概要と関係部局における取組内容を整理した後、各所管において今年度の取り組みについて目標を設定し、アクションプランの推進を図りました。</p>		4

<p>【旧逆川の整備】</p> <p>○道路予備修正設計（設計延長 210m）、道路及び電線地中化詳細設計（設計延長 210m）を完了しました。</p> <p>○地元検討会（2回）、地元説明会（参加者 36 人）を実施し、道路整備の形状を決定しました。</p>	<p>4</p>	
<p>決算額</p>	<p>30,239,695 円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<p>○蒲田駅周辺地区グランドデザインを推進するため、引き続き関係部局、関係者等と連携して計画事業の取り組みを進めます。</p> <p>○引き続き蒲田駅周辺整備計画策定調査研究会を運営します。調査研究会の中に、鉄道事業者等との連携による「（仮称）駅開発研究会」を立ち上げ、整備構想を整備計画（案）にまで内容を詰める予定です。</p> <p>○旧逆川の整備については、企業者の支障物移設工事を行うほか、関係者との協議を継続して行います。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります

計画事業名		大森駅周辺のまちづくり					
主な取組内容		歴史と文化と浜風のかおる、にぎわいと交流のあふれるまち大森をめざした駅周辺のまちづくりを推進します。(仮称)大森北一丁目開発により、区有地を有効に活用し、大森のまちのにぎわいを創出する拠点として複合施設を整備します。					
(平成/年度)		21	22	23	24	25	26~30
基本調査による将来構想(案)の検討・策定		→					
将来構想の調整・策定			→				
将来構想の計画的実施				→			検証
(仮称) 大森北一丁目開発	民間事業者による複合施設の建設	→	→				
	民間事業者による複合施設の管理運営			→			継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 22 年度の取り組み内容		進捗状況
<p>【将来構想の調整・策定】</p> <p>○学識者検討委員会（4回）を開催し、大森駅周辺地区の現況・特徴、策定エリア、まちの将来像、基本方針・目標、具体的取り組みとなるアクションプランの整合性等を専門的見地から検討しました。</p> <p>○庁内検討委員会（4回）を開催し、大森駅周辺地区におけるまちづくり課題の整理、アクションプランの実現可能性等の検討を行いました。</p> <p>○大森駅周辺地区グランドデザインについて、東西まちづくり協議会等の関係者に、検討内容及び進捗状況等について説明を行いました。</p> <p>○地元意見交換会（4回、参加者延べ78人）、大森駅周辺地区グランドデザイン素案地元説明会（2回、参加者延べ40人）の開催のほか、パブリックコメント（意見数41件）を実施した上で、平成23年3月に大森駅周辺地区グランドデザインを策定しました。</p>		4

<p>【(仮称)大森北一丁目開発—民間事業者による複合施設の建設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設本体建設工事を進め、完了しました。 ○区活用部分(入新井特別出張所、自転車駐車場、入新井図書館、入新井集会室)の内装工事を進め、完了しました。 ○ビル全体が開設され、区施設(入新井特別出張所、自転車駐車場、入新井図書館)についても、運営開始に向けた準備を行い、開設しました。 ○入新井集会室について、開設に向けた準備を行いました。(平成23年4月1日に開設済み。) 	<p>4</p>	
<p>決算額</p>	<p>478,671,880 円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ○大森駅周辺地区ランドデザインを推進するため、関係部局、関係者等と連携して計画事業の取り組みを進めます。 ○エリアマネジメントの態勢づくりを進めます。 ○大森駅西口駅前周辺の整備については、地権者組織づくり等を行います。 ○引き続き、地元及び事業者と連携を図り、さらなるまちのにぎわい創出に向け、積極的に調整を行います。 		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります

計画事業名	身近な地域の魅力づくり						
主な取組内容	私鉄主要駅周辺において、歴史・文化・産業などの地域の特性を活かした魅力と活力がみなぎるまちを推進するため、安全で快適な歩行空間を確保し、地域活性の拠点となる整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
地域まちづくり拠点整備		→					継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 22 年度の取組み内容		進捗状況
<p>【地域まちづくり拠点整備】</p> <p>○区画街路第 1 号線（その 3）の鉄道蓋かけ工事（310m）を実施しました。（継続して施工中。）</p> <p>○用地（583.94 m²）を土地開発公社から買戻しました。</p> <p>○9 画地の用地買収折衝を継続して実施しました。</p>		4
決算額	1,899,181,998 円	
次年度以降の主な取組み	<p>○平成 26 年 3 月の完了をめざし、鉄道部分の蓋かけ工事を継続して実施します。</p> <p>○引き続き着実な用地買収を継続します。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります

計画事業名	京浜急行線連続立体交差事業における駅周辺のまちづくり						
主な取組内容	京浜急行線連続立体交差事業を契機に、京急蒲田駅西口、糎谷駅前及び雑色駅の周辺地区において、駅前環境や住・商業環境の整備、防災機能の向上等を図るため、市街地再開発事業*等による整備を目標とする、関係権利者組織の活動を支援します。あわせて、駅前拠点の整備における公共サービスの提供について、方針や可能性などの検討を行います。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
再開発等事業化支援(3地区)							完了 (26年度)
公共サービス提供に関する検討							

所管部局	連続立体事業本部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【再開発等事業化支援（3地区）】</p> <p>○京急蒲田西口地区については、調査活動を行いまちづくり推進団体を支援したほか、団体活動費の助成等を実施しました。また、従前地権者による共同建替え事業の支援として、除却費の一部を助成しました。</p> <p>○京急蒲田西口駅前地区再開発事業については、駅前再開発準備組合の活動支援として、調査設計計画費に助成し、平成 23 年 3 月に再開発組合が設立されました。</p> <p>○糎谷駅周辺地区については、準備組合が行う再開発ビルや駅前広場等に関する意見交換会等の実施を支援したほか、本組合設立に向けての合意形成を進めるため、個別面談の実施を支援しました。</p> <p>○雑色駅周辺地区については、調査活動を行い雑色駅周辺地区まちづくり推進団体の活動及び広報紙発行等を支援しました。</p>	4	

<p>【公共サービス提供に関する検討】</p> <p>○京急蒲田駅西口周辺地区では、駅前広場・アクセス道路等のデザインイメージについて、駅周辺の町会・商店街・まちづくり推進団体等の代表者による意見交換会（3回）を、再開発準備組合との共同により実施しました。</p> <p>○糀谷周辺地区では、市街地再開発事業に伴う公共施設整備について、権利者による公共施設計画意見交換会（参加者13人）を実施しました。</p>	<p>4</p>
<p>決算額</p>	<p>38,947,684 円</p>
<p>次年度以降の主な取り組み</p>	
<p>○京急蒲田西口周辺地区については、市街地再開発事業に関し、権利変換計画認可に向けた支援（助成金交付等）を実施するほか、都心共同住宅供給事業に関しては、施設建築物建設支援（助成金交付等）を実施します。また、引き続きまちづくり団体の活動支援を実施します。</p> <p>○糀谷駅周辺地区については、再開発組合設立に向けた支援を実施します。</p> <p>○雑色駅周辺地区については、駅周辺のまちのあり方と市街地再開発事業成立の条件整備の検討等、まちづくり団体活動の支援を実施します。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名		京浜急行線連続立体交差事業の推進						
主な取組内容		京浜急行線の連続立体交差化により28箇所の踏切を除去し、交通渋滞の解消や、鉄道による地域分断の改善により、まちの活性化や魅力あるまちづくりを推進します。また、本線と空港線が分岐する京急蒲田駅の総合的な改善も行います。あわせて、高架下空間の利用、交差道路の整備についても具体化を進めます。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
鉄道高架化	用地取得		→					
	工事		→					
交差道路・側道整備工事					→			完了 (26年度)

所管部局	連続立体事業本部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【鉄道高架化－工事】</p> <p>○連続立体交差事業の負担金や京急蒲田駅総合改善事業補助金を支出しました。</p> <p>○連続立体交差事業では、平成 22 年 5 月に上り線を高架化し、9 月には環状 8 号線付近の下り線を仮高架化しました。これにより、環状 8 号線を含む 4 か所の踏切が除却されました。</p>	4	
決算額	1,234,772,254 円	
次年度以降の主な取り組み		
<p>○平成 24 年度に上下線全線を高架化し、28 か所の踏切全てが除却される予定です。</p> <p>○平成 26 年度には、関連側道を含む事業を完了する予定です。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名	新空港線「蒲蒲線」*の整備促進						
主な取組内容	区民の利便性向上と国際化する羽田空港へのアクセス機能を高めるため、JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅を結ぶ、新空港線「蒲蒲線」の整備を促進していきます。						
(平成/年度)	21	22	23	24	25	26	26～30
整備事業化に向けた検討	→						
関係機関との協議、調整			→				継続
区民協議会と連携した促進活動	→						継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【整備事業化に向けた検討】</p> <p>○国、東京都、大田区、鉄道事業者等で構成する新空港線「蒲蒲線」調査に伴う勉強会（2回）を開催しました。</p> <p>○最新のパーソントリップ調査を踏まえた予測モデルの更新を行うとともに、空港跡地まちづくり推進計画などを反映した需要予測の深度化を踏まえ、事業実現性等を検討しました。</p> <p>○検討の結果、現在想定している条件下において、一定の事業性があることを確認しました。</p> <p>○整備促進に向け、勉強会の機会以外にも、東京都等関係機関に協力要請を行いました。</p>	4	
<p>【区民協議会と連携した促進活動】</p> <p>○平成 21 年度に実施した調査の結果を広く区民に周知するため、ホームページに調査概要を掲載しました。</p>	4	
決算額	7,875,000 円	
次年度以降の主な取り組み		
<p>○新空港線「蒲蒲線」の整備促進に向け、平成 22 年度調査のとりまとめを基に、パンフレットやホームページ等により、広く周知を図ります。</p> <p>○平成 22 年度の検討結果を踏まえ、国や東京都、鉄道事業者等、関係機関への積極的な働きかけを行います。</p> <p>○事業実行性向上のため、羽田空港の機能拡充や国際化の進展等、将来の需要予測の見直し等の動向を把握、検討します。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名		都市計画道路の整備						
主な取組内容		主要幹線道路間の交通円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保するため、街路整備を推進します。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
区画街路第1号線	用地取得・整備	→						継続
補助44号線その2	用地取得・整備・測量	→						残路線事業着手
補助43号線	用地取得・測量	→						残路線事業着手

所管部局	都市基盤整備部	
平成 22 年度の取り組み内容		進捗状況
【区画街路第1号線－用地取得・整備】 ○鉄道蓋かけ工事（310m）を実施しました。（継続して施工中。） ○用地（583.94 m ² ）を土地開発公社から買戻しました。 ○9画地の用地買収折衝を継続して実施しました。		4
【補助44号線その2－用地取得・整備・測量】 ○用地（347.39 m ² ）を土地開発公社から買戻したほか、契約買収（2画地、182.61 m ² ）、土地収用法裁決の申請（1画地、9.55 m ² ）を行いました。 ○復元測量、管理舗装を完了しました。		4
【補助43号線－用地取得・測量】 ○土地利用履歴調査を実施しました。 ○新規事業認可申請の実施に向け、事業認可庁である東京都との調整等の準備を行いました。 ○事業認可庁との調整に時間を要し、年度内の事業認可取得が見送られたため、用地取得には至りませんでした。		3
決算額	303,244,817円*	
次年度以降の主な取り組み		
○区画街路第1号線及び補助44号線その2については、引き続き着実な用地買収を継続して行います。 ○新規路線の補助43号線に関しては、平成23年度第一四半期の事業認可取得後、積極的に用地取得に取り組みます。		

*区画街路第1号線については、別の未来プラン事業である「身近な地域の魅力づくり」（P.75）と同様の内容です。したがって、決算額の重複を避けるため当該経費は「身近な地域の魅力づくり」のみに計上しています。

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名	コミュニティバス*の導入検討、運行支援						
主な取組内容	区内交通不便地域を解消するため、地域が支えるコミュニティバスの導入を検討するとともに、運行を支援します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
試行運行・運行検証		1地区					
運行支援							検証
導入検証結果を踏まえて運行計画の策定							検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 22 年度の取り組み内容		進捗状況
<p>【運行支援】</p> <p>○運行事業者への運行事業補助金の交付、利用促進策の検討、利用案内の作成・配布等の運行支援を行いました。</p> <p>○平成 22 年度の乗車人員は約 36,000 人、1 便あたりの平均乗車人員は 6.6 人でした。</p>		4

<p>【導入検証結果を踏まえて運行計画の策定】</p> <p>○バスの利用促進のため、運行事業者が「たまちゃんバス専用回数券」を発売するとともに、大田観光協会と連携して観光協会の発行する散策パンフレットにたまちゃんバスルートに掲載しました。</p> <p>○平成 21 年度に行った運行検証結果に基づく課題（利用促進、サービス水準の改善、事業採算性の向上）を検討するため、地元関係者（住民、福祉関係者、PTA、運行事業者）による「大田区コミュニティバス等検討会議・作業部会」（3 回、参加者延べ 54 人）を開催しました。</p> <p>○利用促進については、平成 21 年秋以降の利用者の減少傾向もあり、その強化策として、矢口地区自治会連合会が主催する「二十一世紀桜まつり」にてたまちゃんバスの PR の実施を作業部会で決定しました。実施内容を確定するために作業部会内で検討班を設置し、検討会（3 回、参加者延べ 19 人）を開催し、スタンプラリーの実施、ポスター掲示、利用案内配布、専用回数券等の現地販売等を企画・準備しましたが、東日本大震災の影響のため、「二十一世紀桜まつり」が中止となり、PR の実施には至りませんでした。</p> <p>○たまちゃんバスの PR 強化のため、利用案内（20,000 部）を作成し、矢口特別出張所等で配布しました。</p> <p>○区報（平成 22 年 6 月 11 日号）にて、広く区民に利用促進の PR を行いました。</p> <p>○サービス水準の改善については、矢口地域の道路幅員やガス橋通りの所要時間について実地調査を行い、作業部会にてルート変更の可能性の検討を行いました。</p> <p>○事業採算性の向上については、運賃収入以外の収入確保策として、区・東急バス・広告代理店で覚書を交換し、車内広告の取り組みを始めました。</p>	4	
決算額	8,901,312 円	
次年度以降の主な取り組み		
<p>○地元自治会や作業部会等と連携しながら、利用案内の幅広い配布や地域イベント等における PR 等を通して利用促進をさらに強化します。</p> <p>○車内広告の募集を開始するとともに、他の運賃収入以外の収入確保について検討します。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名	自転車駐車場の整備						
主な取組内容	自転車等駐車場を整備し、緊急車両や歩行者などの通行の妨げになっている放置自転車をなくし、安全で安心な魅力あるまちづくりを推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
8駅の自転車等利用実態調査を基に駐車場の検討、推進		→					
自転車等駐車場の整備検討		→					継続
(仮称)大森北一丁目開発による自転車等駐車場設置			→				
京浜急行連続立体交差事業高架下自転車等駐車場設置			→				継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【自転車等駐車場の整備検討】</p> <p>○以下の自転車等駐車場の整備を実施し、完了しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大森海岸駅前臨時：自転車 138 台 ・流通センター前：自転車 84 台、原付 18 台 ・石川台駅前：自転車 250 台 ・雪が谷大塚町：自転車 147 台 ・蒲田五丁目 45 番：自転車 320 台 ・雑色駅西口：自転車 350 台、原付 15 台 <p>○日本工学院自転車駐車場の地下 2 部分（1,024 台）を開設しました。</p>	4	
<p>【(仮称)大森北一丁目開発による自転車等駐車場設置】</p> <p>○大森複合施設ビルの地下に、536 台の自転車を収容できる自転車等駐車場を開設しました。(民間施設の自転車 460 台、原付 21 台と合わせ 1,017 台収容可能。)</p>	4	

<p>【京浜急行連続立体交差事業高架下自転車駐車場設置】</p> <p>○京急蒲田駅自転車等駐車場整備計画策定委員会(2回のほか視察1回、綾瀬駅・赤羽駅)を開催しました。</p> <p>○自転車等の利用実態や将来需要に即した自転車等駐車場整備計画を策定するため、蒲田東口地区まちづくり協議会との話し合いを中心に、地元の現状と要望を聞きながら他地区への視察を行い、地域の意見を取り入れる対策を模索しました。</p>	<p>4</p>	
<p>決算額</p>	<p>172,208,791 円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<p>○石川台駅前増設計画、多摩川駅前増設計画、環八陸橋工事に伴う増設計画の整備検討を行います。</p> <p>○京浜急行連続立体交差事業高架下自転車駐車場については、整備に向けた協議、検討を行います。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-3 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名	京浜急行線連続立体交差事業関連街路の整備						
主な取組内容	京浜急行線の連続立体交差化に伴い、ゆとりある歩行者空間を持つ駅前広場やアクセス*道路等を整備し、京浜急行沿線の魅力あふれるまちづくりを推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
用地取得		→					
アクセス道路等の整備		→					完了 (26年度)
京急蒲田駅東口駅前広場の整備						→	完了 (26年度)

所管部局	連続立体事業本部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【用地取得】</p> <p>○関連街路用地の 2 画地（計 23.47 m²）について地権者と契約し、用地契約率が 88.4%となりました。</p> <p>○土地開発公社に依頼して先行取得した画地のうち 189.56 m²を買い戻しました。</p> <p>○東京都受託分の関連街路用地を土地収用法の和解により 1 画地（56.56 m²）取得しました。受託分用地契約率は 96.9%となりました。</p> <p>○困難物件について、任意での契約締結を断念することなく折衝を継続し、あわせて土地収用裁決申請を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地裁決申請と建物明渡裁決申立を行った案件：1 件 ・建物明渡裁決申立後、和解となった案件：2 件 ・土地裁決申請を行った案件：2 件 	4	
<p>【アクセス道路等の整備】</p> <p>○補助線街路第 328 号線の境界確認調査、電線共同溝及び街路整備詳細設計等を実施しました。</p> <p>○東京都からの受託事業である空港線付属街路第 1 号線の境界確認調査、道路整備詳細設計等を実施しました。</p>	4	
決算額	1,033,229,303 円	
次年度以降の主な取り組み		
○土地収用法を適用して収用裁決申請を行い、裁決を得て用地を取得します。		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります

計画事業名		公園の整備						
主な取組内容		地域環境の改善を図り、防災面での安全性を高め、区民の余暇活動や健康増進に寄与するために、都市に潤いをもたらす公園緑地の整備、拡張を進めます。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
丸子多摩川公園	用地取得・整備		→					完了
東糀谷四丁目公園	整備		→					
東蒲田公園	整備		→					
(仮称)中央五丁目公園	用地取得・整備		→					完了
(仮称)南馬込二丁目公園	用地取得・整備		→					
一般公園	用地取得・整備		→					検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【田園調布せせらぎ公園－用地取得・整備】</p> <p>○社会経済状況を踏まえ、平成 22 年度は設計委託、整備工事を見合わせることにしました。</p> <p>○基本計画を作成し、地域の自治会連合会や公園自主活動団体への公園整備計画に関する説明を行い、意見を集約しました。さらに、近隣住民への戸別説明を実施しました。</p> <p>※未来プランに記載している公園の名称を下記のとおり変更しました。 (変更前)「丸子多摩川公園」 (変更後)「田園調布せせらぎ公園」</p>	3	
<p>【東糀谷防災公園－整備】</p> <p>○平成 21～22 年度の 2 か年工事で、防災広場、外周園路、管理棟外構等の公園第 2 期工事や公園管理棟工事を行い、両工事とも竣工しました。</p> <p>※未来プランに記載している公園の名称を下記のとおり変更しました。 (変更前)「東糀谷四丁目公園」 (変更後)「東糀谷防災公園」</p>	4	
<p>【東蒲田公園－整備】</p> <p>○設計委託のほか、地元自治会や近隣住民への公園整備計画に関する説明を行いました。地元説明会で出た意見を反映して基本設計、実施設計を完了しました。</p>	4	

<p>【(仮称) 中央五丁目緑地－用地取得・整備】</p> <p>○隣接して工事中である保育園擁壁工事の遅れにより、工事を道路拡幅・緑生ウォール及びグラウンドアンカー外の二つに分割し、保育園開発行為許可に必要な道路拡幅を先に竣工する方向で工事を実施しました。</p> <p>○東日本大震災の影響で擁壁工事の竣工がさらに2ヶ月遅れたため、(仮称)中央五丁目緑地の工事も竣工が遅れました。(平成23年8月に竣工済み。)</p> <p>※未来プランに記載している公園の名称を下記のとおり変更しました。 (変更前)「(仮称)中央五丁目公園」 (変更後)「(仮称)中央五丁目緑地」</p>	3
<p>【(仮称) 南馬込二丁目緑地－用地取得・整備】</p> <p>○社会経済状況を踏まえ、平成22年度は設計委託・整備工事を見合わせることにしました。</p> <p>○基本計画を作成し、地元の自治会等への緑地整備計画に関する説明を行い、意見を集約しました。これにより、緑地の整備についての合意を得ることができました。</p> <p>※未来プランに記載している公園の名称を下記のとおり変更しました。 (変更前)「(仮称)南馬込二丁目公園」 (変更後)「(仮称)南馬込二丁目緑地」</p>	3
<p>【一般公園－用地取得・整備】</p> <p>○あすなろ児童公園、千束児童遊園、萩中児童遊園の工事を実施しましたが、東日本大震災の影響で竣工が遅れました。(3か所の公園とも、平成23年4月に竣工済み。)</p>	3
<p>決算額</p>	281,234,113円
<p>次年度以降の主な取り組み</p>	
<p>○田園調布せせらぎ公園については、平成23～24年度の2か年で増設部分2か所の設計委託・整備工事を行います。また、隣接マンション自治会、地元商店会への説明を行います。</p> <p>○東蒲田公園については、平成23年度に整備工事を行い、隣接する大田区総合体育館と同時に竣工します。</p> <p>○(仮称)中央五丁目緑地については、平成22年度の第1期工事に引き続き、平成23年度に第2期工事を行います。その後平成24、25年度まで合計4か年で設計委託・整備工事を行います。</p> <p>○(仮称)南馬込二丁目緑地については、平成23年度に近隣住民への戸別説明及び整備工事を行います。</p> <p>○一般公園の整備に関しては、(仮称)大森南四丁目第二公園の整備工事を平成23年度に行い、高畑第三児童公園の設計委託を平成23年度に、整備工事(増設)を平成24年度に行います。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります

計画事業名	魅力ある公園のリニューアル						
主な取組内容	安全で使いやすい公園とするために、バリアフリー*化などを進めます。また、幅広い世代が交流できる場として、高齢者向けの健康遊具*の設置や遊具・設備を更新するとともに、防災機能の向上も図りながら公園をリニューアルします。このほか、魅力ある豊かな自然環境を確保するため、公園緑地の整備や桜の樹木更新などを進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
大規模公園のバリアフリー化							検証
			(10箇所/5年)				
健康遊具設置							
			(1箇所/年)				
遊具改修							検証
			(8箇所/年)				
桜の保全・更新							検証

所管部局	都市基盤管理部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【大規模公園のバリアフリー化】</p> <p>○萩中公園、西六郷三丁目公園、本門寺公園、洗足池公園のバリアフリー化の設計を行い、完了しました。</p> <p>○萩中公園、西六郷三丁目公園のバリアフリー化の工事を行い、竣工しました。</p> <p>○平和の森公園、都堀公園についても、工事を実施しましたが、東日本大震災の影響で竣工が遅れ、完了には至りませんでした。(2か所の公園とも、平成 23 年 4 月に完了済み。)</p>	4	
<p>【健康遊具設置】</p> <p>○矢口二丁目公園に健康遊具を設置しました。</p>	4	
<p>【遊具改修】</p> <p>○谷戸児童公園、サンサン根岸児童公園、久が原なかよし児童公園、石川町二丁目児童公園、西六郷一丁目児童公園、南六郷公園、北前堀緑地、森ヶ崎公園の遊具改修を行いました。</p>	4	

<p>【桜の保全・更新】</p> <p>○桜の保全について、樹勢回復のため土壌改良等を実施しました。</p> <p>○桜の更新について、極めて状態が悪いと認められる樹木（10本）を対象に伐採・植樹を実施しました。</p>	<p>4</p>
<p>決算額</p>	<p>442,404,100円</p>
<p>次年度以降の主な取り組み</p>	
<p>○大規模公園のバリアフリー化については、社会経済状況を踏まえ、平成21～25年度までであった計画を修正し、平成21～28年度の8か年計画としました。平成23年度の予定は設計3か所（菟中公園、洗足池公園、池上梅園）、工事3か所（菟中公園、洗足池公園、平和の森公園）とし、当初計画を削減しました。</p> <p>○健康遊具については、引き続き1か所設置します。</p> <p>○遊具改修については、北三児童公園、桜並木公園、はなみずき児童公園、蒲田本町一丁目公園、西六郷二丁目児童公園、森が崎公園において工事を行います。</p> <p>○桜の保全・更新については、洗足池公園サクラ樹勢回復作業委託のほか、洗足池公園樹木更新工事を行います。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります

計画事業名	呑川緑道の整備						
主な取組内容	呑川の側道に街路樹を植樹するほか、護岸の壁面緑化*を行います。また、路面温度上昇を抑制するため、遮熱性舗装*などで散策路を整備します。 このほか、沿川の歴史と環境を活かした観光スポットとしての観点からサイン計画を策定し、散策路にサインを設置していきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
橋詰部等用地取得		→					
緑道整備			(1,500m/5年)				検証
サイン整備			→				検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【橋詰部等用地取得】</p> <p>○適地がなかったため、用地取得を行いませんでした。</p> <p>○橋梁架替工事に伴う用地取得については、他部署と連携して取得へ向けての働きかけを行いました。</p> <p>○呑川沿道の民間開発の際には、緑道幅員の確保等の指導、協力要請を行いました。</p>	4	
<p>【緑道整備】</p> <p>○呑川緑道の整備工事（373.4m）及び実施設計（140m）を完了しました。</p>	4	
<p>【サイン整備】</p> <p>○種別、設置位置等の検討を行い、呑川緑道サイン基本計画を策定しました。</p> <p>○未来プランでは、サイン整備は平成 23 年度に開始の計画ですが、前倒して実施しました。</p>	5	
決算額	43,787,609 円	
次年度以降の主な取り組み	<p>○引き続き、呑川緑道の整備を計画的に行います。</p> <p>○サイン整備については、関係機関との協議等、調整を行いながら推進します。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります

計画事業名	桜のプロムナード*の整備						
主な取組内容	水と緑のネットワークの充実を図るため、洗足流れ・馬込桜並木・内川に至る道路を散策路として整備するとともに、サイン整備を進めていきます。また、馬込桜並木の桜再生(枯損木植替え)を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
散策路整備		→ (800m/5年)					検証
桜の保全・更新		→					検証
サイン整備			→				検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 22 年度の取組み内容	進捗状況	
【散策路整備】 ○散策路（123.1m）の整備工事を行い、完了しました。	4	
【桜の保全・更新】 ○植栽（1本）を行いました。	4	
【サイン整備】 ○種別、設置位置等の検討を行い、桜のプロムナードサイン基本計画を策定しました。 ○未来プランでは、サイン整備は平成 23 年度に開始の計画ですが、前倒して実施しました。	5	
決算額	38,705,641 円	
次年度以降の取組み		
○引き続き、桜のプロムナードの整備を計画的に行います。 ○サイン整備については、関係機関との協議等、調整を行いながら推進します。		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名	鉄道駅舎のバリアフリー*化の推進						
主な取組内容	区内鉄道駅舎のバリアフリー化のためエレベーターが必要な駅舎への設置支援を推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
エレベーター設置支援		→					

所管部局	まちづくり推進部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【エレベーター設置支援】</p> <p>○京急天空橋駅について、エレベーター設置費の一部助成を実施し、エレベーターの供用が開始されました。</p> <p>○千鳥町駅のバリアフリー化について事業者ヒアリングを行い、スロープを設置することとなりました。(平成 23 年度に供用開始予定。)</p> <p>○西馬込駅のバリアフリー化について事業者ヒアリングを行い、エレベーターを設置することとなりました。(平成 24 年度末に供用開始予定。)</p> <p>○バリアフリー化困難駅(モノレール天空橋駅、新整備場駅、整備場駅、昭和島駅)について、事業者から今後のバリアフリー化の方向性等のヒアリングを行いました。</p> <p>○ホームドア等の整備について、事業者から今後の整備の方向性等のヒアリングを行いました。</p>	4	
決算額	40,494,000 円	
次年度以降の主な取り組み	<p>○現在バリアフリー化が未整備の駅(モノレール天空橋駅他)について、整備に向けて事業者と情報交換等を行います。</p> <p>○引き続き、駅舎のバリアフリー化の状況把握を行い、状況に応じて事業者ヒアリング等を行います。</p> <p>○ホームドア等の整備促進について、事業者の取り組み状況を踏まえながら、今後必要な対応について検討します。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名		自転車等利用総合対策						
主な取組内容		地球環境にやさしい自転車の利用などについて、区民や鉄道事業者など関係機関と連携・強化を図り、駅周辺の放置自転車や利用者に対する交通ルールの遵守、交通マナーの向上などの対策を協議し、安全で安心なまちづくりを推進します。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
自転車等利用総合基本計画	協議会開催、検討		→					
	検討、策定			→				
事業推進スケジュール検討・調整					→			継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 22 年度の取り組み内容		進捗状況
<p>【自転車等利用総合基本計画－検討、策定】</p> <p>○区民、鉄道事業者、学識経験者等で構成する自転車等駐車対策協議会（6回のほか視察1回、自由が丘駅周辺、桜新町駅、渋谷区旧玉川水道道路、世田谷区城山通り）を開催し、駐輪に関する課題と方針や自転車走行環境等について検討を行いました。</p> <p>○素案を作成し、パブリックコメント（意見数9件）を実施した上で、平成23年3月に自転車利用に関するあらゆる問題に対処する考え方や方向性をまとめ、「はしる」「とめる」「まもる」を柱とする自転車等利用総合基本計画を策定しました。</p>		4
決算額	10,814,847円	
次年度以降の主な取り組み		
○自転車等利用総合基本計画の事業推進スケジュールについて、検討・調整を行います。		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名	だれでもトイレの整備						
主な取組内容	道路や公園などにある公共トイレ(公衆便所や公園便所の一部)の改築や新設にあわせて、誰もが使いやすい「だれでもトイレ」の整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
だれでもトイレの整備	改築			18箇所完了			継続
	新設						継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 22 年度の取組み内容	進捗状況	
<p>【だれでもトイレの整備－改築】</p> <p>○若竹公園、大森西四丁目公園、南蒲公園の公園便所、多摩川野球場前公衆便所の改築工事を行いました。4 か所全てについて、東日本大震災の影響で竣工が遅れ、年度内の完了には至りませんでした。(平成 23 年 4 月に竣工済み。)</p>	3	
<p>【だれでもトイレの整備－新設】</p> <p>○次年度以降の新設に向けた検討を行いました。</p> <p>○「公園の整備」(P.86)の萩中児童遊園、「魅力ある公園のリニューアル」(P.88)の萩中公園、都堀公園においても、だれでもトイレを整備しました。</p>	4	
決算額	25,289,276 円*	
次年度以降の主な取組み	○社会経済状況を踏まえ、平成 23 年度に計画していた 4 か所を見直し、改築 2 か所(鶉の木二丁目児童公園、仲六郷三丁目第二公園)、新設 1 か所(萩中一丁目公園)の整備を行います。	

*萩中児童遊園、萩中公園、都堀公園におけるだれでもトイレの整備にかかる経費については、別の未来プラン事業である「公園の整備」(P.86)、「魅力ある公園のリニューアル」(P.88)に計上しています。

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名	橋梁の耐震性の向上						
主な取組内容	区が管理する橋梁の中で、緊急道路障害物除去路線*や鉄道を跨ぐ橋梁など防災上重要な橋梁は、計画的に架替・耐震補強整備を進め、災害に強いまちづくりを推進します(優先対策橋梁53橋)。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
架替・耐震補強整備		→ 優先対策橋梁のうち31橋完了					検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【架替・耐震補強整備】</p> <p>○新馬込橋について、詳細設計委託を完了し、工事発注に向け関係機関との協議等の準備を進めました。</p> <p>○西三跨線人道橋、第二中谷跨線人道橋について、複数の鉄道事業者が関係する案件であるため調整に時間がかかり、調査の実施のみにとどまり、設計には至りませんでした。</p> <p>○町屋跨線人道橋、仲町跨線人道橋、薬師跨線人道橋については、鉄道事業者と工事協定を締結しましたが、相手方の作業日程調整の関係や東日本大震災の影響により、工事完成には至りませんでした。</p> <p>○道々女木橋、清水窪歩道橋については、調査及び設計を完了しました。</p> <p>○仲ノ橋については、工事契約及び関連企業等と支障管路等の協議を行い、計画通り進行しました。</p> <p>○八幡橋については、右岸側橋台、橋脚の撤去工事を行いました。</p> <p>○大森東避難橋については、工事契約及び防衝杭の撤去等の工事を行いました。</p>	2	
決算額	378,713,920 円	
次年度以降の主な取り組み	<p>○仲之橋、八幡橋については、継続して架替工事を行います。</p> <p>○新馬込橋架替工事に着手します。</p> <p>○大森東避難橋については、耐震補強工事について、早期竣工をめざします。</p> <p>○鉄道をまたぐ橋梁については、東日本大震災の地震発生を契機に、再度鉄道事業者と実施計画を見直します。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-1 世界へ羽ばたくまちをつくります

計画事業名	にぎわいのある文化交流拠点の整備						
主な取組内容	国内外の多様な文化圏の相互交流を通じてにぎわいを創出する施設を整備します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田空港跡地利用OTA基本プランに基づいた事業化の検討、実施		→					継続
関係機関との連絡調整		→					継続

計画事業名	世界へ発信する産業支援拠点の整備						
主な取組内容	基盤技術*の集積を誇る製造業などの区内産業の新市場開拓などに寄与する施設を整備します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田空港跡地利用OTA基本プランに基づいた事業化の検討、実施		→					継続
関係機関との連絡調整		→					継続

計画事業名	水と緑のふれあいゾーンの整備						
主な取組内容	市街地に隣接した親水及び緑地空間を創出して、環境との共生をめざし、潤いややすらぎのスペースを整備します。あわせて、地域の防災機能の強化を図る空間としての活用を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田空港跡地利用OTA基本プランに基づいた事業化の検討、実施		→					継続
関係機関との連絡調整		→					継続

所管部局	経営管理部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【羽田空港跡地利用 OTA 基本プランに基づいた事業化の検討、実施】</p> <p>○国、東京都、大田区、品川区で構成する羽田空港移転問題協議会において、平成 22 年 10 月に策定した「羽田空港跡地まちづくり推進計画」では、跡地の土地利用やまちづくりの方向性等がまとめられました。しかし、取得主体や整備主体等については引き続き検討されることとなりました。</p> <p>○これに伴い、平成 22 年度の目標としていた整備計画の策定ではなく、跡地整備に向けて羽田空港跡地利用に関する調査を実施し、報告書としてまとめました。</p>	4	

<p>【関係機関との連絡調整】</p> <p>○羽田空港移転問題協議会において、平成 22 年 10 月に「羽田空港跡地まちづくり推進計画」を策定し、跡地をどのように活用していくかについての方向性を示しました。</p>	4	
決算額	32,193,000 円	
次年度以降の主な取り組み		
<p>○跡地の取得主体及び整備主体について、関係機関との調整を行います。</p> <p>○跡地第 1 ゾーンについて、事業化に向けた検討を行います。</p>		

* 「にぎわいのある文化交流拠点の整備」「世界へ発信する産業支援拠点の整備」「水と緑のふれあいゾーンの整備」は一体的に取り組んだため、取り組み内容等が同一の内容となっています。

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-2 未来につながる臨海地域をつくります

計画事業名	海上公園の移管整備						
主な取組内容	臨海部にある公園のあり方や整備内容について検討を行うとともに、東京都港湾局所管海上公園の移管や再整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
臨海部公園整備計画の検討		→					
港湾局移管公園の整備			→				継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
【臨海部公園整備計画の検討】 ○平成 23 年 3 月に策定した緑の基本計画において、拠点等、臨海部公園のあり方を決めました。	4	
【港湾局移管公園の整備】 ○東京都港湾局が所管している昭和島南緑道公園の区への移管について、平成 23 年度末の移管に向け、東京都が改修する具体的な施設や内容、また、境界確定行為や所有権の移転登記等、移管内容の調整を行いました。	4	
決算額	0 円	
次年度以降の取り組み		
○平成 23 年度末に昭和島南緑道公園の移管協議を行います。		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-2 未来につながる臨海地域をつくります

計画事業名	海辺の散策路整備						
主な取組内容	海老取川から平和島運河周辺、さらに京浜運河周辺など、臨海部の埋立地を結ぶ緑のネットワークの形成を図るため、水とみどりの拠点整備や散策路整備の検討を行い、関係機関と協力しながら整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
臨海部における散策路のあり方検討		→					
散策路計画及び整備手法の検討				→			散策路・拠点整備 検討

所管部局	都市基盤整備部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【臨海部における散策路のあり方検討】</p> <p>○臨海部散策路のルートの設定と基本断面の検討を行い、一部 1,400m 区間の基本設計を完了しました。</p> <p>○羽田旭町地区の散策路整備について、平成 23 年度の工事実施に向けた実施設計を行い、200m 区間について完了しました。</p>	4	
決算額	3,587,850 円	
次年度以降の主な取り組み	<p>○平成 23 年度は、大森東一丁目の 200m 区間、羽田旭町の 200m 区間（計 400m）の散策路の工事を実施します。</p> <p>○平成 24 年度は、大森南 4 丁目から 5 丁目にかけての約 1 km 区間の散策路の工事を実施する予定です。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-2 未来につながる臨海地域をつくります

計画事業名	空港臨海部将来構想の検討						
主な取組内容	臨海部の将来構想を策定し、構想に基づいた土地利用の誘導を図ります。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
空港臨海部将来構想の検討、策定		→					
空港臨海部将来構想に基づいた土地利用の誘導			→				継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 22 年度の取組み内容		進捗状況
<p>【空港臨海部将来構想に基づいた土地利用の誘導】</p> <p>○「羽田旭町周辺地域まちづくりの基本的考え方」（平成 21 年 9 月）に基づき、大規模地権者との間で「羽田旭町地区のまちづくりに関する基本協定」を締結しました。</p> <p>○周辺地域への負荷軽減や地域貢献等に係る協定の締結に向け地域と連携して積極的な働きかけを行い、開発者との間で協定内容の合意が得られました。</p> <p>○地元と施工業者の工事協定書締結に係る支援・調整を行い、協定内容の合意が得られました。</p>		4
決算額	0 円	
次年度以降の主な取組み	○各種協定に基づく履行状況を確認するとともに、引き続き地元・開発者間の調整を行います。	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-2 未来につながる臨海地域をつくります

計画事業名	交通ネットワークの検討						
主な取組内容	臨海部の交通ネットワークについて、観光的側面も考慮しながら、道路網、公共交通機関、舟運を含めた新たな交通システムの検討を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
空港臨海部将来構想の検討、策定		→					
空港臨海部将来構想に基づいた交通ネットワークの検討			→				継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【空港臨海部将来構想に基づいた交通ネットワークの検討】</p> <p>○蒲田駅と羽田空港を結ぶシャトルバスの開設について、事業者との調整を進め、平成 22 年 10 月にシャトルバスの運行が開始されました。</p> <p>○調布地区と羽田空港を結ぶバスの開設について、事業者との調整を進め、平成 23 年 3 月に武蔵小杉・田園調布本町～羽田空港間の空港リムジンバスの運行が開始されました。</p> <p>○臨海部における既存公共交通（バス交通）についての現状把握を行いました。</p>	4	
決算額	0 円	
次年度以降の主な取り組み	○シャトルバスやリムジンバスなどの利用状況を踏まえつつ、区内他地域から羽田空港等臨海部へのさらなる利便性向上に向け、現状把握と検討を行います。	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します

施策 2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します

計画事業名	工場の立地・操業環境の整備						
主な取組内容	区内工場の立地・操業環境の向上のため、産業支援施設(賃貸工場、創業支援施設など)の整備・運営を行い、事業の拡張や高度化のために行う事業に対しては、経費の一部を助成します。また、区が工業用地を取得し、その活用の展開を図ります。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
産業支援施設指定管理者*による運営・支援							継続
ものづくり工場立地助成						検証	継続
工業用地再開発支援(用地取得、活用検討)							検証

所管部局	産業経済部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【産業支援施設指定管理者による運営・支援】</p> <p>○産業支援施設指定管理者により賃貸工場（4 施設）、創業支援施設（1 施設）、産業連携支援施設（2 施設）のモニタリング評価を行い、総合所見でA及びB評価を判定しました。</p> <p>○評価結果は、賃貸工場はA評価が 1 施設、B評価が 3 施設、創業支援施設はA評価、産業連携支援施設は全てB評価でした。</p>	4	
<p>【ものづくり工場立地助成】</p> <p>○ものづくり工場立地助成は、急激な円高による景況悪化の影響を受け、企業の設備投資の動きが弱いところです。その中においても事業の拡張や高度化を図る企業もあり、経費の一部を助成しました。</p> <p>○新規に助成を実施する企業（7 件）を認定しました。また、前年度から継続して助成を実施した企業は、16 件（2 年度目 10 件、3 年度目 6 件）でした。</p>	4	

<p>【工業用地再開発支援（用地取得、活用検討）】</p> <p>○工業用地再開発支援事業は、平成 21 年度に実施を中止しました。</p> <p>○その代替事業として東糀谷 6 丁目 4 番に計画された民間大規模工場アパート（敷地面積 4,257.68 m²）について、ものづくり工場立地助成（基盤施設整備）の計画認定を行いました。</p>	<p>4</p>	
<p>決算額</p>	<p>191,740,748 円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<p>○産業支援施設の指定管理者による運営・支援では、企業ニーズに合ったサービス改善に努め、モニタリング評価も向上しています。より良い評価を得ることができるよう、指定管理者との連携強化を図ります。</p> <p>○ものづくり工場立地助成は、立地支援策の重点事業です。「大田区企業立地促進計画」及び今後策定する「ものづくり総合特区」との整合性を踏まえ、大田区ものづくり企業の集積を維持・発展を図る事業として、様々な手法で取り組みます。</p> <p>○東糀谷 6 丁目民間工場アパートへの入居企業の公募を、開発事業者と連携して進めます。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まろ}

個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します

施策 2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します

計画事業名	新製品・新技術開発の支援						
主な取組内容	新規市場開拓等に向けて企業や企業グループが、新製品・新技術を開発する際に、企画・設計から試作・開発までに要する経費の一部を助成します。 大田区中小企業が開発した、優れた新製品や新技術を表彰することで技術力・開発力の向上意欲を醸成するとともに、大田区中小企業の技術力を広く内外にアピールします。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
補助金交付		→					検証
コンクール表彰		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【補助金交付】</p> <p>○開発ステップアップ助成の上限枠を増やす等、事業内容の見直しを行い、開発段階に応じた対応幅の広い支援を行いました。</p> <p>○助成実績は、開発スタート助成（上限 200 万円）採択 1 件（応募 2 件）、開発ステップアップ助成（上限 1000 万円枠）採択 6 件（応募 36 件）、開発ステップアップ助成（上限 500 万円枠）採択 9 件（応募 31 件）でした。</p>	4	

<p>【コンクール表彰】</p> <p>○平成元年の第 1 回から第 22 回を迎えた平成 22 年度は、コンクールの更なる進展を期して従来の「奨励賞（6 件以内）」を一新し、大田区の企業らしい特色のある賞（おおた福祉・医療賞、おおた E C O 推進賞、おおた秀逸技能賞、テク乃ちゃんイチ押し賞）を新設しました。</p> <p>○新製品・新技術の募集では、区内の 20 社から高いレベルの応募が 20 件あり、審査会において「いずれも魅力的な逸品で、審査委員会一同、大いに悩み、同時に楽しみながら（審査委員長から）」という講評をいただき、9 社の入賞を決定しました。</p> <p>○入賞した企業（9 社、最優秀賞 1 社、優秀賞 2 社、奨励賞 2 社、おおた福祉・医療賞 1 社、おおた E C O 推進賞 1 社、おおた秀逸技能賞 1 社、テク乃ちゃんイチ押し賞 1 社）に対し、表彰式を行いました。</p>	<p>4</p>	
<p>決算額</p>	<p>78,232,484 円</p>	
<p>次年度以降の取り組み</p>		
<p>○平成 23 年度は、新製品新技術開発支援事業（製品化助成）を新設します。開発の最終段階で、製品・技術そのものの付加価値を高めるため、製品化、実用化及び商品化に向けた取り組みを支援します。区内中小企業の売れる製品づくり、技術の確立を図り、売上げの向上と顧客獲得につながることをめざします。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します

計画事業名	海外市場開拓支援						
主な取組内容	区内企業の優れた製品や技術を、アジアをはじめ世界に情報発信し、実際の取引拡大につながるような海外展開を支援します。諸外国・地域の政府機関、産業関連機関、企業団体との交流を積極的に進め、区内企業に対して情報提供等の支援策を実施します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
海外展開支援		→					検証
情報提供等の実施		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【海外展開支援】</p> <p>○リーマンショックから急速に復活したタイ経済の影響で、オオタテクノパーク入居企業の操業状況も好調の局面にあり、大田区企業の入居準備やタイ市場調査のため支援活動（56社）を実施しました。</p> <p>○中国市場展開の支援については、区内企業を引率しての視察（4回、延べ10社）を実施しました。</p> <p>○海外見本市への出展支援（中国2回、延べ14社、タイ1回、4社）を実施しました。</p>	4	
<p>【情報提供等の実施】</p> <p>○海外取引相談（459件）、中国取引相談（439件）に対応しました。</p> <p>○海外市場調査（中国5都市（上海、瀋陽、大連、香港、台湾）、ASEAN5都市（タイ：バンコク、コラート、コンケン、マレーシア：クアラルンプール、ベトナム：ホーチミン））を実施し、情報収集、整理、分析を行いました。</p>	4	
決算額	28,653,942 円	
次年度以降の主な取り組み		
<p>○海外だけでなく国内の施設（産業プラザや東京ビッグサイト等）を会場にして中国、タイ等の海外企業との商談会を開催します。</p> <p>○中国 3 地域の展開戦略を効果的にするため、大連、上海、香港において展示会への出展を実施します。</p> <p>○タイオオタテクノパークの入居希望企業への支援を、工場立上げの具体的な内容に移行します。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します

計画事業名	次世代ものづくり人材の育成						
主な取組内容	小中学生を対象としたものづくり実践教室、産業のまちスクール、子ども起業家育成セミナーを実施し、ものづくりへの興味・関心を促す事業を行います。産業団体の実施する経営・技術指導講習会への補助をはじめ、若者と中小企業のマッチング、次世代経営者育成セミナーなどの人材育成事業を実施します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
講座・セミナーなどの開催		→					検証
講習会などへの補助		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【講座・セミナーなどの開催】</p> <p>○経営技術指導講習会として、CAD製図初級講座（2回、参加者延べ14人）、やさしい図面の見方（2回、参加者延べ54人）、NCプログラミング初級講座（1回、参加者5人）、フライス盤・旋盤講座（2回、参加者延べ21人）、新規人材育成セミナー（参加者31人）、次世代経営者育成セミナー（2回、参加者延べ32人）を開催しました。</p> <p>○産業のまちスクールとして、区内小学生と保護者を対象に工場集積地域と工場内の見学会、ものづくり体験（参加者23組46人）を実施しました。</p> <p>○ものづくり実践教室として、小学校1～4年生を対象に芝浦工業大学と連携したロボットづくり教室（80組160人）を開催しました。</p> <p>○小学校5・6年生及び中学校1・2年生を対象に都立産業技術高等専門学校等と連携したプログラミングロボットづくり教室（参加39人）を開催しました。</p> <p>○区内ものづくり企業が実施する人材育成、確保に寄与するプロジェクトを募集し、選定の上助成（4件）を実施しました。選定され、実施したプロジェクトは、「小中学生職場体験（工作機械を使用しての製造体験）」、「精密プレス金型設計者の育成」、「数楽アート事業化プロジェクト」、「町工場職場体験共有Webシステム」でした。</p> <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>	4	

<p>(次ページからの続き)</p> <p>○若手求職者と大田区企業との出会いの場を提供するため、ヤングジョブクリエイション 2010 (参加企業 44 社、参加者約 1,100 人) を展示会形式で開催し、ブースでの企業概要説明や、カウンセリング、適職診断コーナー等を設け、参加者の就職、転職をバックアップしました。</p> <p>○就職、転職における面接の一手手前の段階を想定し、大田区企業と 35 歳未満の求職者の面談会 (2 回、参加企業延べ 19 社、参加者延べ 73 人) を開催しました。</p>		
<p>【講習会などへの補助】</p> <p>○工業団体実地研修会の支援として、各団体が実施する企業見学会等の研修会へ助成 (10 件) しました。</p> <p>○経営革新支援事業として、団体等が経営革新や技術向上等のために実施する講習会について、助成 (17 件) しました。</p>	4	
<p>決算額</p>	<p>25,307,367 円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<p>○ヤングジョブクリエイション、プレ就職面談会の参加者を増やすため、以下の取り組みを行います。</p> <p>○大学が実施する学生向け就職説明会に協会職員を派遣し、本事業及び区内製造業等の魅力を PR します。</p> <p>○製造業の知識がないために学生へ企業を紹介しにくいという声もあることから、大学キャリアセンター職員に区内中小製造業の実力を知ってもらうための視察見学会を実施します。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	商店街景観整備事業						
主な取組内容	商店街関係者、地域住民、NPO*、コンサルタントなどにより協議会を組織し商店街の役割を見直し検討するとともに、歴史や文化に特徴を持つ商店街の景観整備を行い、にぎわいのあるまちづくりを進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
候補地A 協議会設立、実施計画検討・策定・実施		→					
候補地B 協議会設立、実施計画検討					→		検証

所管部局	産業経済部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【候補地 A 協議会設立、実施計画検討・策定・実施】</p> <p>○商店街と近隣住民による協議会（大森本町ミハラ通り北商店会、大森ミハラ通り仲町商店会、ミハラ南商店街振興組合、するがや通り商店会）において、整備計画のスケジュールを検討、確認するにあたり、コンサルタント派遣の支援を行いました。</p> <p>○平成 23 年度の整備実施に向け、「新・元気を出せ！商店街事業」による助成申請の支援を行いました。</p> <p>○景観整備を実施する意思がある全商店（52 店舗）を対象に実施設計を行いました。</p> <p>○大森グランドデザイン関係部局に整備計画を伝え、グランドデザインの中に整備計画を盛り込みました。</p>	4	
決算額	3,699,000 円	
次年度以降の主な取り組み	<p>○ファサードの整備について、着工します（旧東海道：ミハラ通り4商店街）。（ファサードとは、建物などの正面（この場合来街者の方から見える建築物）を言います）</p> <p>○次の候補商店街の選定を行い、整備検討を進めます。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	ふれあい商店街事業						
主な取組内容	商店街内に新たなコミュニティ*空間、高齢者に優しいまちを創出するため、商店街会館及び空き店舗などを活用します。お休み処・トイレなどを整備し、来街者のために開放します。提供する商店街に対しては、運営費の一部を補助します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
実施商店街		2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	検証

所管部局	産業経済部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
【実施商店街】 ○梅屋敷東通り商店街に 5 か所目となる「お休み処」を開設しました。 ○既に開設している矢口の渡商店会、日の出銀座商店街、雑色商店街、長原商店街に、運営費の一部を助成しました。	4	
決算額	11,746,320 円	
次年度以降の主な取り組み		
○新規開設施設の選定を行います。 ○既存施設のモニタリングを行います。		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	商店街イベント・機能向上の支援						
主な取組内容	商店街が自ら企画し実施するイベントや商店街の機能向上のための事業に対して、必要な経費の一部を助成します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
商店街への助成事業実施							検証

所管部局	産業経済部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
【商店街への助成事業実施】 ○商店街が実施し、地域住民が参加でき販売促進の効果が期待できるイベント事業（121 事業、77 商店街）に助成しました。 ○商店街が実施する商店街の環境整備で、集客効果が期待できる活性化事業に助成（8 事業、8 商店街）しました。	4	
決算額	222,589,000 円	
次年度以降の主な取り組み		
○引き続き助成事業を行い、必要に応じて中小企業診断士等を派遣し、効果的なイベントや商店街の機能向上を図ります。		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	おおた商い観光展の開催						
主な取組内容	広く区内外の事業者等に呼びかけ、各地域の銘品・逸品(食品・工芸品など)の展示・販売を行うとともに、区内の観光情報の発信や逸品認定発表を行い、「大田区の観光資源」を全国に向けて発信する「おおた商い観光展」を開催します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
おおた商い観光展の開催		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 22 年度の取組み内容	進捗状況	
<p>【おおた商い観光展の開催】</p> <p>○平成 22 年 10 月に区の商店や観光資源を全国に発信する「おおた商い観光展」(来場者数延べ 12,269 人)を開催しました。</p> <p>○観光、観光関連事業、特産品、逸品等、幅広い出展分野で、125 の商店・企業・団体が 130 ブースを出展しました。</p> <p>○おおたの一品逸品、大田商店街グランプリ、OTA! いちおしグルメの表彰式、ハワイアンフラダンス等のイベントのほか、小沢昭一氏による特別講演「小沢昭一 的 蒲田のころ」や、ダニエル・カール氏による「川がはぐくむ地域の心意気 多摩川と最上川」が行われました。</p>	4	
決算額	13,406,067 円	
次年度以降の主な取組み	<p>○区内の商業、サービス等の新規顧客開拓の支援として、商業・サービス業の情報を更に広範囲に発信し、区内企業同士の交流拡大や区外企業との受発注機会の活性化に繋がります。</p> <p>○「商い・観光・匠」のビジネス交流として、出展者のシーズ(経営資源)を把握し、それらに見合うターゲットに直接 PR 活動を行い B to B(企業間取引)の取引機会拡大を狙います。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	サービス業実態調査とマッチング支援						
主な取組内容	情報サービス、物流サービス、専門サービス(コンサルティング、財務、法務)などビジネスを支援するサービス産業や、区民の生活を応援する生活関連サービスに関する調査を実施し、その活動状況や課題を把握します。その上で、製造業や商業の顧客獲得や生産性の向上、区民生活の利便性の向上に貢献するサービス産業の支援を検討します。また、ビジネス支援・生活関連サービス分野のNPOや社会起業家の活動の把握・支援を検討します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
実態調査の実施、支援策の検討		→					
ビジネス支援サービス・生活関連サービス業の支援の実施				→			検証
NPO・社会起業家の活動状況の支援の実施				→			検証

所管部局	産業経済部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【実態調査の実施、支援策の検討】</p> <p>○サービス業実態調査（平成 21 年度）の実施結果に基づき、各分野別のサービス業の状況、課題等を整理し、行政としての支援策の検討を行いました。</p> <p>○調査の結果、製造業の景気回復がサービス業にも連動するとの意見が多く、製造業に密着した大田区の地域性が現れていること、大田区の現行融資制度の情報が周知しきれていないこと、商店街の活性化を推進する必要性があること等が、分野を問わず多くのサービス業で課題となっていることが判明しました。</p> <p>○調査結果を踏まえ、次年度以降、情報提供や現行の支援策の強化を図る方向性を確認しました。</p>	4	
決算額	0 円	
次年度以降の主な取り組み	<p>○区の融資制度をより詳細に周知するため、区報でPRするよう改善を図ります。</p> <p>○産業振興協会の補助事業として、商業版産業情報誌を発行します。</p> <p>○引き続き、商店街活性化推進事業の拡充及びあきない・サービス系産業団体等経営革新支援事業を実施します。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-3 大田区の観光を世界に発信します

計画事業名	にぎわいを生み出すスポットづくり						
主な取組内容	観光推進団体と連携しながら、区内の面白スポットなどを発掘し、新たな観光コースとして紹介することで、観光資源として活かしていきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
スポットの発掘・整理		→					検証
新たな観光コースづくり		→					検証
観光コースのPR		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【スポットの発掘・整理】</p> <p>○区内の名所をテーマごとに巡る大田再発見ツアーとして、「美しい多摩川フォーラムでの講演会（参加者 115 人）及びクイズラリー（参加者 170 人）」、「のりのりビーチフェスタ（参加者 500 人）」、「池上本門寺ウォーク（参加者 30 人）」、「蒲田タイムトラベルウォーク（参加者延べ 52 人）」、「のりのりビーチフェスタインふるはま（参加者延べ 375 人）」を実施しました。</p> <p>○区内の見どころを写真撮影しながら散策する“てくてくフォト散歩”として、「羽田沖クルージング&写真撮影ツアー（参加者 18 人）」「ピクニックとフォト（参加者 15 人）」を実施しました。</p> <p>○品川区との連携で事業展開するまちづくり推進協議会において、「羽田空港国際化記念イベント羽田沖クルーズ（参加者 676 人）」、「外国人向け大田区・品川区モニターツアー（参加者延べ 55 人）」、「商店街つまみ食いウォーク（参加者 4,191 人）」を実施しました。</p>	4	
<p>【新たな観光コースづくり】</p> <p>○六郷用水の歴史や散策路等を紹介するパンフレット「六郷用水 400」（10,000 部）や、区がテーマとする生活観光の魅力の一つである銭湯を紹介する「おた銭湯マップ」（10,000 部）を作成し、羽田空港観光情報コーナーや特別出張所、図書館等の区内施設のほか、各観光 PR 展示の際等において配布しました。</p>	4	

<p>【観光コースのPR】</p> <p>○大田区の観光コースを広くPRするため、「羽田グローバルエキスポにおける大田区観光・産業館」、「東京都庁観光情報センターPRコーナー」、「多摩川ウォーキングフェスタ」でのブース出展や、「おおた商い観光展」、「OTAふれあいフェスタ」、「区役所本庁舎1階展示スペース」、「ダイシン百貨店特設会場」、「地図展 in おおた」、「Luz 大森オープニングイベント」への出展により、パンフレットの配布や区の観光スポット等を紹介するパネル展示等を実施しました。</p>	<p>4</p>	
<p>決算額</p>	<p>10,879,869 円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<p>○品川・大田地域が連携し行う観光まちづくりPR事業及び観光ルートの整備を含む観光資源の開発等の支援を行います。</p> <p>○地域の特色を活かした旅行商品の開発と地域団体が行うモデルツアーの実施等の取り組みを支援します。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-3 大田区の観光を世界に発信します

計画事業名	ものづくりのまち体験ツアーの実施						
主な取組内容	観光推進団体と連携し、区内の工場の協力を得て、観光客がものづくりを体験できる環境を整備し、「ものづくりのまち体験ツアー」を開催します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
事業化に向けた検討		→					
体験ツアーの実施			→				検証

所管部局	産業経済部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
【事業化に向けた検討】 ○16 の工場について、ヒアリング方式により工場の基本情報、歴史、仕事のネットワーク、地域との関係等の調査を実施し、工業フェアにて成果を発表しました。	4	
【体験ツアーの実施】 ○ものづくりの現場を小学生等が写真撮影しながら体験していく「大田区工業ふしぎ発見隊」(3回、参加者延べ8人)を実施しました。 ○工場見学を通じて大田区を知るツアー「モノづくりのまち大田ウォーク 2011」(参加者 30人)を実施しました。	4	
決算額	3,325,056 円	
次年度以降の主な取り組み	○世界に誇る大田のものづくりについて、その魅力を掘り起こし、情報発信するため、産業観光の視点からPRするための調査を実施します。また、その有効な手法、施策のあり方を構築します。	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-3 大田区の観光を世界に発信します

計画事業名	シティセールス*の実施						
主な取組内容	羽田空港の国際化に対応するため、空港乗り入れ都市(海外を含む)などに対し、多言語で大田区の観光資源を情報発信していきます。また、区内の観光情報をPRするため、積極的にメディア展開をしていきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
区内情報のPR		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 22 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【区内情報の PR】</p> <p>○観光協会による観光情報誌の発行に助成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒲田モダン人物伝 10,000 部 ・六郷用水 400 : 10,000 部 ・旅するように暮らす大田 50,000 部 ・いろは・な・大田区 1, 2 各 5,000 部 <p>○観光協会による観光マップの発行に助成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおた観光イラストマップ（日英語版）10,000 部 ・大田の魅力再発見マップ「大森・海上公園」「馬込」「田園調布」（多言語化改訂）日英版各 9,000 部・日韓版各 5,000 部・日中版各 5,000 部 ・大田の魅力再発見マップ「下丸子」（英語・たまちゃんバス案内併記改訂）10,000 部 ・おおた銭湯マップ 10,000 部 <p>○観光協会ホームページの多言語化（英語、中国語（簡）、韓国語）について支援を行い、多言語化が完了しました。</p> <p>○いきいき大田写真コンクールに部門賞（羽田空港・国際交流部門、大森・蒲田にぎわい部門、ものづくり部門）を設置しました。全応募総数は 509 点（177 人）であり、部門賞を各 1 点選定しました。また、発表、展示（210 点）を実施しました。</p> <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>	4	

<p>(前ページからの続き)</p> <p>○羽田空港国際線旅客ターミナルビルのオープンに合わせて、到着ロビー内に大田区観光情報コーナーを開設しました。平成 22 年度末までの来場者は約 25,000 人でした。大田区の観光、産業をPRするため、物産、模型、パネル等の展示や、映像放映、パンフレットの配布(約 30 種類、約 46,000 部)を行いました。</p> <p>○新たに 8 人を大田区観光大使として任命し、平成 21 年度から継続の 6 人とあわせて 14 人となりました。各大使には、羽田グローバルエキスポ等のイベント(24 件)に参加していただくほか、インターネット等を通じて大田区の魅力を世界に発信していただきました。</p> <p>○羽田空港、品川駅からのみどころを掲載した「羽田・品川駅からマップ」を多言語(日英版 50,000 部、日中版 30,000 部、日韓版 30,000 部)で作成しました。</p> <p>○観光まちづくりガイド養成講座(16 回、参加者延べ 32 人)を開催しました。</p>	
決算額	22,062,461 円
次年度以降の主な取り組み	
<p>○シティセールスのため区内の観光情報の提供を行います。</p> <p>○羽田空港国際化を機に大田区の観光と産業を内外の来訪者へのアピールの場として、さらには区内全域への誘客を促す情報発信の場として羽田空港国際線ターミナル内に設置したPRコーナーの運営を行います。</p> <p>○おおた観光協会の観光情報誌等の情報媒体を充実させ、大田区の観光資源情報を内外に発信します。</p> <p>○区内在住等の外国人を通じて、大田区の魅力を、出身国をはじめ広く国内外にPRします。</p>	